

2021年4月1日

## 放射線治療を受けられた患者さんへ

### (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

#### [研究課題名]

強度変調放射線治療の患者個別線量検証において治療計画の複雑性が検証結果に及ぼす影響を調べる後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 片山 博貴 放射線部 診療放射線技師

#### [研究の目的]

強度変調放射線治療(intensity modulate radiation therapy: IMRT)は、コンピュータによる最適化計算を用いて治療計画を行う技術であり、腫瘍の大きさや形状に一致した線量分布を作成することができません。強度変調はマルチリーフコリメータ(薄い鉛の板を何枚も重ねて作られており、照射野形状を決定する装置)を複雑に移動させながら照射することで作成します。そのため、患者一人一人に対して計画された線量が正しくデータ転送され、治療装置(リニアック)によって照射されるか「患者個別線量検証」を実施しています。しかし、治療計画の複雑性と線量測定結果との関係は明らかになっていません。本研究では治療計画の複雑性と患者個別線量検証の結果との関係を明らかにすることで、より安全で精度の高いIMRTを提供することを目的とします。

#### [研究の方法]

対象となる患者さん

2016年1月1日から2020年12月31日の間に頭部、頭頸部、骨盤部に放射線治療を受けられた方

利用する検体・診療情報

診療情報：治療計画用CT画像、放射線治療計画データ、患者個別線量検証記録として電離箱線量計・3次元半導体検出器・電子ポータル画像装置で計測した検証結果

#### [研究組織]

香川大学医学部附属病院 放射線部 片山博貴

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

#### [連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 放射線部 片山博貴

電話 087-891-2291(直通)